



教室ガイド付き

プログラミングが学べる!

# スクール選びのポイント

# ポイント

文/神谷加代



**ウ** 子にもプログラミングを習わせてみたいけど、何を基準にスクールを選ばいいのか分からない—そんなふうに思っている保護者の方は多いでしょう。プログラミングスクールの数は年々増えているものの、保護者同士がプログラミングについて話をする機会はまだまだ少なく、得られる情報も限られているため、最初の一步をどうすればいいのか迷ってしまいます。

ここでは、子どもたちが楽しくプロ

グラミングを学ぶために、あるいは、継続的にプログラミングを学べるように、保護者はどのようなことに注意してスクールを選ばいいのか、ポイントを5つに絞って整理してみました。体験教室などでプログラミングスクールを訪れる際の参考にしてください。

ちなみに昨今は、スクールだけでなく、地域のコミュニティセンターや博物館、大学などで週末を利用したプログラミングのワークショップが

実施されたり、IT企業などが春休みや夏休みにプログラミングのイベントを開催するケースも増えてきました。習い事としてプログラミングを始める前に、このような機会を利用して体験してみるのもいいでしょう。

ほかにも、多くのプログラミングスクールでは、長期休暇に短期教室などを開催しています。定期的にスクールに通うのが難しい場合は、これらうまく取り入れるのもひとつの方法です。

ポイント

1

## ソフトが好き? それともハードが好き?

プログラミングは、ロボットなどのハードをコンピューターで制御するプログラミングと、ゲームやアプリなどのソフトを作るプログラミングの2つに大別されます。スクールによっては、どちらかのみを教えている、または両方を扱うところもあります。



ポイント

2

## 学習のゴールはある? 発表の場がある?

たとえばスイミングの場合、“クロールで25メートル泳げた”など明確な到達点がありますが、プログラミングは何をもって成長したのか、保護者が見えづらいです。そのため学習のゴールは何か、子どもたちの成長が感じられる成果発表の場があるのかを確認しましょう。



ポイント

3

## 教材を使う? 自由に制作する?

各スクールの授業の進め方はさまざま。毎回の課題が決まっていたり、テキストを見ながら自分のペースで進めたり、あるいはスクールによっては教材がなく、学ばず言語や作りたい作品を決めて、あとは自由制作で進める場合もあります。



ポイント

4

## 上位クラスが用意されている?

最初はほとんどの子どもがビジュアルプログラミングから始まりますが、やり始めると意外にもタイピングを早くにマスターしたり、スキルの習得にたけた子もいます。そうした子どもたちがどんどん先のクラスに進めるよう上位クラスの有無も確認しましょう。

ポイント

5

## 先生はどんな人? どれくらい人数がいる?

大学生や社会人など、どんな人が講師なのか確認しよう。重要なのは講師の人数。プログラミングは子どもたちが自分で課題解決する場面が多いため、わからないことがいつでも質問できる体制が望ましいです。十分な講師を配置しているのかチェックしましょう。



次のページから実際のスクールを紹介するよ

仲間と一緒に学べるのも楽しい!

